阿賀野市立吉田東伍記念博物館

# 友の会通信

2010-2011
No.2（通巻59号）
2010.8.1発行

■ 目次

吉田ゆき氏が名誉館長に就任／恒例企画！夏休み子ども博物館 …… 1
研修旅行で吉田東伍終焉の地を訪ねました！／特別寄稿／会員随想 …… 2・3
サークルだより「白河荘を歩く会」／友の会伝言板～事務局より／編集後記 …… 4

発行：吉田東伍記念博物館友の会　〒959-2221 阿賀野市保田1725－1（阿賀野市立吉田東伍記念博物館内）
TEL 0250-68-1200　FAX 0250-68-5016　web版友の会通信 http://wind.ap.teacup.com/togo/

博物館HP http://www.city.agano.niigata.jp/togo_museum/index.html　E-mail y.togo@oregano.ocn.ne.jp

## 博物館ニュース　吉田ゆき氏が名誉館長に就任

平成22年6月25日、吉田東伍の嫡孫・吉田ゆき氏（新潟市秋葉区在住、友の会会員）が阿賀野市立吉田東伍記念博物館の名誉館長に就任されました。吉田ゆき氏は、7月の友の会研修旅行にも参加され、吉田東伍終焉の地である銚子市を会員とともに訪ねました（特別寄稿を参照ください）。

恒例企画！　8月31日まで

## 夏休み子ども博物館

夏休みの自由研究や読書、親子連れ（もちろん大人も大歓迎!）での学びの場として市立吉田東伍記念博物館をご利用ください。開館時間は午前8時30分から午後5時まで（月曜休館）。開催期間中、阿賀野市内の小中学生の入館料は無料です。

お楽しみイベント❶

### 小企画展「少年 吉田東伍」展

8月5日㊍～9月12日㊐

超人学者にもこんな時があったんだ！
幼少年期の東伍の資料を特別公開。

会場 阿賀野市立吉田東伍記念博物館

お楽しみイベント❷

### 星空への招待 2010

～天体観測会 流れ星がたくさん見える夜～

8月12日㊍ 19:00～

前半は月・金星・木星などを観測。後半はお待ちかねのペルセウス座流星群を観望します。

会場 阿賀野市保田 交通公園内（安田城跡、安田公民館隣）

お楽しみイベント❸

### とんとむかしを聞く会

今年は、おはなしメニューのバリエーションも広く、阿賀野市内の語り部と新潟の民話の語り手交流会の皆さんがコラボレーション！

8月22日㊐ 13:30~16:00

会場 阿賀野市立吉田東伍記念博物館 2階研修室

※詳細は「夏休み子ども博物館」のチラシをご覧ください。
※小企画展「少年 吉田東伍」展、「とんとむかしを聞く会」は博物館主催事業（友の会協力事業）です。

# 研修旅行で吉田東伍終焉の地を訪

7月5日(月)・6日(火)の一泊二日で、友の会念願の吉田東伍終焉(しゅうえん)の地・銚子市を訪ねました。銚子ボランティアガイド「観光船頭会」の皆さんの郷土を愛する人情、利根川・太平洋の川と海と湖の風景、道中の随所で味わった名物の数々と、大勢の皆さんの参加を得て、充実の二日間となりました。

## 特別寄稿　銚子への旅

阿賀野市立吉田東伍記念博物館名誉館長　吉 田 ゆ き（よしだ ゆき）

私は亡父から銚子の終焉碑について度々聞いていたが、行ったことはなかった。是非とも銚子へと思っていたところ、博物館友の会が研修旅行で終焉碑を訪ねることを知った。このチャンスを逃してなるものか！と、すぐに申し込んだ。

7月5日早朝、観光バスで出発し磐越自動車道を通り午後、銚子に到着。その日いっぱい、市民ボランティアの皆様4名が、わかりやすくユーモアのある語り口で市内を案内してくださった。

最初に吉野屋旅館跡に行った。現在は別の建物が建っている。父の思い出によれば、祖父は吉野屋3階の部屋からよく見えた利根川河口の景色が気に入ったらしい。そして飯沼観音縁起を話してくれたようだ。

飯沼観音はそこからすぐの所にある。美しく堂々とした観音堂を参拝し、終焉碑のある海静寺へ移動。石段を登りきると、こじんまりとして手入れの行き届いた境内に着いた。本堂の前で、ご住職野村氏のご家族と海静寺護持会長嶋田氏が出迎えてくださった。本堂には終焉碑関係資料が展示され、コピーも頂いた。友の会のために、準備をされたご住職は所用のためお留守だった。嶋田氏が案内してくださり、さらに石段を登ると平らな場所に出た。終焉碑はそこに利根川河口を眺めているかのように建っていた。まわりはきれいに整備され、説明書きもわかりやすく整えられていた。碑の建設が完了した日は快晴で、遥か金華山や筑波まで眺められるほどだったそうだ。われわれが行った時は、鹿島臨海工業地帯が靄にかすんでいたが、河口の辺りと銚子漁港は一望の元に見渡せた。祖父が最後に見たのは、このようにおおらかな景色だったのだろう。

長谷川会長が花を供えてくださり、私もやっとここに来ることが出来たと実感した。そして、碑が建ってから90年を超す今も守ってくださる方々に対し頭の下がる思いでいっぱいになった。また、銚子在住で博物館に来られた稲葉氏にもお会いした。地元の方のお気持ちに感謝したい。

5日は犬吠崎の「ぎょうけい館」泊まり。ところで、このホテルとは縁があるのかもしれない。ここに飾られていた昭和初期の銚子の地図に吉野屋信太とあるのを会員の方が発見された。さらに、建碑式出席の一行が大正8年に泊まったのは犬吠崎「暁鶏館」だと、後になって気がついた。ホテル名は現在ひらがなだが、門柱に漢字で「暁鶏館」と書かれていたのを思い出した。偶然同じ所に泊まったらしい。

二日間の旅で楽しい思い出もたくさん出来た。太平洋・利根川・銚子が360度の視野に入る丘の上の展望台。醤油工場見学で味わった醤油入りソフトクリーム。神々しく壮麗な香取神宮では、お賽銭が少なかったせいか、厄落としになったのか、帰りの参道で大雨に遭いずぶ濡れ、等など。

この度、利根川と銚子を訪ね、祖父がこの地へ行きたいと望んだ思いがなんとなくわかるような気がした。

得るところ多く素晴らしい旅をさせて頂きありがたく思っている。

# 会員随想　吉田東伍博士終焉の地を訪ねる。

友の会会員　信 田 久 榮（のぶた きゅうえい）

予ねてから我々友の会としての懸案であった、東伍先生の終焉の地への研修旅行が実現した。梅雨の頃とていささか天気模様が気がかりな一行ではあったが、長谷川明一会長にはここのところ、イベントでは晴天に恵まれる「晴れ男」という結構なジンクスを信じて旅は進行した。滅多に行く機会のない、郡山より先の磐越道では、珍しい地名のパーキングで小休止。「差塩」と書いてローマ字の表記を読んだら「Ｓａｉｓｏ」とは、と感心する。常磐道も快適にバスは運行を続け、太平洋の浪を見るにつけても、越後人としての自分の気持ちは昂揚して来る。これが即ち旅する人の醍醐味かななどとも思う。

北関東自動車道を進み、水戸大洗インターで高速道を降りて、近くのドライブイン・大洗イエローポートで昼飯となる。太平洋で獲れたと思われる海鮮料理に舌鼓を打つ。此処からは国道51号を暫く走り、サッカーで名高い鹿島アントラーズのホームグランドのスタジアムをバスの窓から見上げる。やがて国道124号線に入り、右手に荘厳な鹿島神宮の杜を眺めながら、定刻より少し遅れて銚子市の飯沼観音前にて、ボランティアガイドの皆さんと合流する。早速、観音様の門前で、道を隔てた向う側に、往時にあった旅館・吉野屋を教えて貰う。今は、今井書店という看板が読み取れる建物がそれと判る。次に、ガイドさんに案内されて、飯沼観音の境内に入る。説明に拠ると、戦時中、東京を空爆する米軍機は、この地の犬吠埼を目印にして往復していたらしく、東京を爆撃した残りの爆弾を意味も無く、この銚子市へ投げ捨てて退散し、おかげでこの街は甚大な被害を被ったらしい。正徳元年（1711）に鋳造された大露仏にも米軍による機銃掃射の弾痕が痛ましくも残されていた。

そして、今回の主題である東伍博士終焉の碑が立つ海静寺を訪ねる。住職は他出していたが、寺を守る方々がお待ちかねであった。護持会代表の嶋田静氏の案内で「終焉碑」を囲む。寺内は新調したと思われる標識板で案内が行き届いていて、箒目も真新しく我々一行を歓迎してくれていた。木の枝や薮を刈り払って眺望自慢の琴平山をいやが上にも見晴らしの良い場所と我々には印象深く思われた。碑の前に安田から持ち込んだ花束を長谷川会長が捧げ、一同記念の写真を撮り、去りがたい思いを抱きながら急な坂道を下った。

宿へ入る前、銚子市内の名所を訪ね歩く。「地球の丸く見える丘展望館」は生憎カスミがかっていて、視界不良は残念至極なり。しかし、360度の視界のうち330度は海の上とは素晴らしい景観である。

宿の「ぎょうけい館」は、初めは何？と訝しく思ったものだったが、ホテルに着いてから改めて看板に「暁鶏館」と読めて、なるほど本州最東端に位置する土地柄の銘々と納得した。ただ、折角の素晴らしい館名、漢字を使えば、一瞬にして土地と位置が判るのになァと少し残念に思った次第なり。しかし、旅館内に張り出してあった古地図に思いがけない発見をした。少し個人的な興味に過ぎないかもしれないが、地図上に示された「吉野屋」の次に信太という名前が表記されていたのに驚く。つまり、信太とは、自分の姓、信田のルーツ、古代に開発された「信太荘」から来ているものだから、東伍博士が息を引き取った宿が、自分の姓のルーツと繋がるとは、一入の宿縁を感じた。また、海静寺で戴いた土地の名産菓子の詰め合わせに、「シダの鰯角煮」とあって、その製造元が信田缶詰株式会社とあったので、信太から信田に変化して読み方もシダ、シノダ、シンタ、ノブタといろいろある事も実感した。

結局、吉田東伍先生終焉の地を訪ねる旅は、自分自身にとっても誠に有意義な旅となった。

## サ|ー|ク|ル|だ|よ|り　白河荘を歩く会

5月から7月の例会は、天候にも恵まれ、現地歩きを順調に重ねることができました。5月例会（19日、10人参加）は、赤松城山へ。6月例会（3日、10人参加）は新発田市方面の隣接する中世荘園・加地荘への出張巡見。7月例会（15日、18人参加）は阿賀野市分田地区へ。地図を片手に景観を訪ね歩く郷土研究の醍醐味を味わいました。皆さんも是非一緒に白河荘を歩いてみませんか？

（サークル責任者：田中洋史）

### 今後の例会のご案内

**8月例会～学習会**

日　　時：**8月19日（木）10:00～12:00**
会　　場：阿賀野市立吉田東伍記念博物館
内　　容：「少年 吉田東伍展」見学、『分田郷土史』を読む（7月例会の振り返り）ほか。
他に持ち寄りの話題提供も大歓迎です。

**9月例会**

日　　時：**9月16日（木）13:30～16:00**
集合場所：阿賀野市立吉田東伍記念博物館
見 学 地：阿賀野市草水・小松地区

※参加費 100 円（資料代）が必要です。
現地見学の場合は、動きやすい服装でご参加ください。

※活動への申し込みは、資料準備の都合上、前日までに友の会事務局（博物館内）へ電話（0250-68-1200）・FAX（0250-68-5016）・メール（y.togo@oregano.ocn.ne.jp）でお申し込みください。

## □友の会伝言板 …… 事務局より

### ❶ 新潟県内博物館等友の会連絡会が開催されました

7月7日（水）、新潟県立歴史博物館会議室で、①第1回友の会サミットの結果報告・会計報告・反省点等、②第２回友の会サミットの期日候補・開催地（館）・開催内容、③友の会の連携のあり方（展覧会の巡回等）などについて話し合われました。地道な課題で緩やかに連携し、今後2年（度）に1回、主管団体の希望の季節にサミットを開催することが確認されました。次回は、平成23年度に開催予定です。

### ❷ シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」

4月の市民文化講演会の講師である新潟大学人文学部・池田哲夫教授より情報を寄せていただきました。8月28日（土）、佐渡市の金井コミュニティーセンター1階ホールにて、新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定調印を記念して開催されます。午前9時25分から午後4時50分まで。午前の部は「現代に息づく佐渡の能楽－上映と実演を通して－」、午後の部はシンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」。中学生による実演と、能楽研究者の小林責氏・天野文雄氏、歴史学研究者の今谷明氏による最新の研究成果の紹介など、充実の催しとなっています。入場無料。定員200名。

詳しくは、http://www.human.niigata-u.ac.jp/seminar/2010/07/post_48.html をご覧ください。

（問）新潟大学人文学部 荻研究室　TEL 025-262-6400

### ❸ 8月31日まで開催！企画展「早稲田大学・市島春城銅像寄贈記念 市島春城展」

**（主催＝新発田市）**

新発田市出身で吉田東伍の理解者、早稲田大学初代図書館長を務めた市島謙吉（春城）の生誕150年を記念した特別企画展。早稲田大学所蔵資料や、吉田東伍記念博物館所蔵の『大日本地名辞書』（第2版）などを展示。会場は、①市島邸（新発田市天王1563、9:00～17:00、水曜休館）、②まちの駅（新発田市中央3、月～金曜日9:00～19:00、土・日曜日10:00～18:00）。料金は、①市島邸は600円（中学生以下300円）、②まちの駅は無料。寄贈された「市島春城銅像」は市島邸で公開されています。

（問）新発田市観光振興課観光施設係、TEL 0254-22-3101。

### 編集後記

今年は暑い夏になりそうです。生誕150年を迎えた作曲家マーラーは、夏の間は指揮者の仕事を休んで、森の中にあった作曲小屋に籠って作曲に取り組んだそうです。夏だからこそできる何かを発見して暑さを乗り切る。そんな決意を新たに、パソコンの前で通信の編集作業を進めています。（H・T）